

磐田市空家等対策計画【概要版】

第1章 計画の概要

1. 目的

平成27年5月に「空家等対策の推進に関する特別措置法」が施行され、国から空家等の対策に関する基本的な方向性が示されました。

これを踏まえ、本市においても「磐田市空家等対策計画」を策定し、あらためて空き家問題に対する基本的な考え、施策を整理し、空家等がもたらす問題へ総合的に対応していきます。

2. 計画期間：令和4年度～令和8年度までの5年間

3. 対象区域：磐田市全域

4. 対象とする空家等の種類：法第2条で規定される空家等

第2章 現状と課題

1. 磐田市の空家等の現状

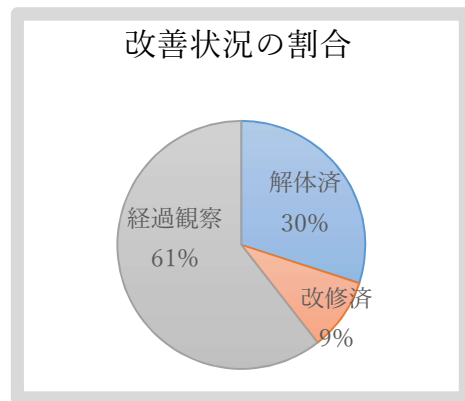
(1) 住宅・土地統計調査(総務省資料)

地域	区分	総数(戸)			空き家率(%)		
		H20	H25	H30	H20	H25	H30
磐田市	住宅	67,430	67,070	70,010	9.7	14.3	12.1
	空き家	6,510	9,570	8,500			
	その他住宅※	2,460	2,950	2,060			
	戸建て住宅	1,770	2,250	1,880			
	アパート等	690	700	170			

※その他住宅：賃貸・売却用以外の空き家

(2) 地域住民・地元自治会からの情報提供(H26～R2)

- ・地域住民や地元自治会からの管理不全空き家に関する情報提供は、延べ180件
- ・空家等の所有者へ改善を働きかけた結果、**全体の約4割**が解体又は改修を実施



2. 課題

(1) 住宅・土地統計調査からみた課題	① 空き家数の抑制 ② 腐朽・破損のある住宅への対応
(2) 空き家所有者実態調査からみた課題	① 空き家の適正管理 ② 空き家の活用
(3) 管理不全空き家に対する課題	① 市全域を対象とした取り組み ② 管理不全空き家への改善、指導と有効な施策 ③ 地元自治会等からの情報提供、連携

第3章 基本理念

空家等に対する不安をなくし、安全で安心して暮らせるまちを目指す

第4章 対策

基本方針	具体的対策	課題の解決			成果目標
		(1)	(2)	(3)	
1 空家等の実態把握と情報の管理	対策1 空家等の調査 ・管理不全空き家の把握、所有者特定、危険度判定の実施	②		①②③	1 管理不全空き家の改善割合 5割以上
	対策2 空家等情報の台帳・データベースの整備 ・必要な空き家情報をデータベース化して台帳整備	②		①②③	
2 所有者等への啓発・支援	対策1 所有者等に対する啓発 ・広報誌、ホームページ掲載及び空き家冊子等を配布		①②	①②	2 戸建て住宅の空き家数 2,000戸未満におさえる
	対策2 空家等管理事業者との連携 ・磐田市シルバー人材センターとの連携・協力	②	①	②	
	対策3 中古建物リフォーム事業費補助金 ・中古建物のリフォームに対する助成 最大100万円	①	②		
	対策4 空き家除却事業費補助金 ・特定空家等、危険空家の除却に対する助成 最大50万円	②		①②	
	対策5 相談窓口の整備 ・相談窓口の設置、相談会の開催	①②	①②	②③	
	対策6 優遇税制の活用促進 ・空き家の譲渡所得の控除に係る制度の周知	①	②	②	
	対策7 空き家バンクの設置 ・磐田市空き家バンクの設置、空き家の有効活用を促進	①	②		
3 放置されている空家等に対する指導	対策1 情報提供に対する措置 ・管理不全空き家に対する助言、指導及び特定空家等に対する法的措置	②		①②③	
	対策2 所有者不明、相続人不在の場合の対応 ・法に基づく措置、財産管理人制度の活用等	②		①②	

【放置されている空家等に対するフロー】

